

# に逃げる時のことを もっと 知って ください

## に逃げるとき

- ・ 家を 出るときは ガスの 元栓を しめて ください。



- ・ 電気の ブレーカーを 切って ください。



- ・ 逃げる時は ヘルメットや 帽子などを かぶって 頭を 守って ください。



- ・ ある 歩いて 逃げてください。  
くるま 車は 使わないで ください。



- ・ まわりに 声を かけて ください。  
みんなで 逃げて ください。



- ・ 津波のときは 高いところ / 津波避難ビルへ 逃げて ください。
- ・ 火事のときは 広いところ / 広い公園などへ 逃げて ください。
- ・ 危険が なくなった あと 自分の 家に いることが できないときは 避難所へ 行って ください。

名古屋市防災アプリ

に逃げるところを

知ることが できます



iOS



Android

港区の 地図は  
こちら



# 避難所<自分の 家に いることが できないときに 生活する ところ>

避難所は 避難所の 近くに 住む人たちが 運営します<決まりを つくり  
必要なことを 行います>。 元気な 人は、 通訳をしたり、  
物を 運んだり、 掃除をしたりするのを 手伝って ください。  
たくさんの 人が 一緒に 生活します。 いろいろな 決まりが あります。



## ○決まり

<p>①受付で 名前などを 書いて ください。</p> 	<p>②休む 場所を 教えて もらいます。 他の人が 使っている 場所に 入らないで ください。</p> 
---	--

自分が 持ってきた 水や 食べ物を 使って ください。  
あとで 水や 食べ物を もらうことが できます。  
お金は いりません。  
順番に 並んで もらって ください。  
そのときに 必要なものだけを もらって ください。



まわりの 人と 生活の  
時間<おきる 時間、  
ねる 時間、 ごはん  
の 時間など>を  
あわせて ください。



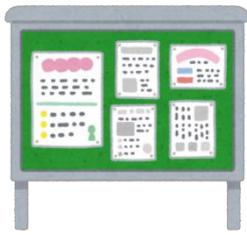
ごみは 決められた  
場所に 分けて  
捨てて ください。



決められた トイレを  
使って ください。



貼られた 紙を  
見て ください。

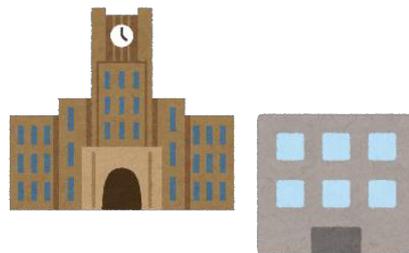


- ・ わからないとき <sup>こま</sup> 困ったときは まわりの <sup>ひと</sup> 人に <sup>そうだん</sup> 相談して ください。

- ・ 地震の <sup>あ</sup>あとは <sup>でんわ</sup> 電話が かかりにくくなります。 メールや SNSで <sup>れんらく</sup> 連絡してみてください。



- ・ <sup>がっこう</sup> 学校、 <sup>かいしゃ</sup> 会社、 <sup>たいしかん</sup> 大使館、 <sup>ちか</sup> 近くに <sup>す</sup> 住む <sup>ひと</sup> 人たちに あなたが どこに <sup>れんらく</sup> いるか 連絡してください。 あなたを <sup>さが</sup> 探している <sup>ひと</sup> 人に あなたのことを <sup>つた</sup> 伝えることができます。



- ・ 地震の <sup>あ</sup>あとは <sup>ただ</sup> 正しくない <sup>はなし</sup> 話が ふえます。 <sup>だ</sup> 出た <sup>はなし</sup> 話が チェックしてください。



提供：災害写真データベース